

科目名	国語史					単位	2.0
担当教員	石川 洋子						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1406

●授業のテーマ

国語の通史を学ぶ。

●到達目標

国語の歴史を理解する。

●学習内容(授業概要)

国語の現代における姿をより良く理解するためには、その成立以来の歴史を知ることが大変有益である。その観点から国語の通史を概説する。併せて、国語史を記述するための、各種の根本資料について解説する。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 「国語学」という分野
2. 第一章 資料論
3. 第二章 表記史
4. 第三章 語彙史
5. 第四章 音韻史
6. 第五章 文法史
7. 第六章 敬語史
8. 第七章 文体史
9. 第八章 国語学史
10. コラム1 平仮名字母と草仮名の変遷
11. コラム2 ヲコト点
12. コラム3 ローマ字
13. コラム4 和文語と漢文訓読語
14. コラム5 神代文字
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習は、テキストの下読みをしておく。

事後学習は、テキストの「国語史関係年表」を参照し、学習の要点をまとめておく。

●成績評価方法・基準

学期末試験 60%、平常点 40%

●テキスト(必携)

《No.1.》書籍名：『国語史を学ぶ人のために』、著者名：木田章義編、出版社：世界思想社、販売先：(株)

D○

●参考文献／その他

『講座国語史 全六巻』大修館書店。

国語学会編『国語史資料集—図録と解説—』武蔵野書院。

●履修上の注意

テキストは毎回使うので、必ず購入すること。